

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

言語学 岩崎加奈絵

授業回数 15回

授業目的 進め方	言語学という「ことば」を対象とした学問が、どのように「ことば」を分析し考察するか、言語学の代表的な各分野の扱う事象を具体的に取り上げつつ、いろいろな切り口を知る。また、「なぜ」そうした切り口や考えが重要なのかをしっかりと考える。 ディスカッションをできるだけ多く行う。5分程度のミニ発表も行う。
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	（「日本語」のテスト返却・解説）
2	イントロダクション：言語学の「範囲」
3	言語は記号である
4	言語は体系である
5	語は何からできているか : 構成要素
6	語は何からできているか : 語の性質
7	文は何からできているか : 文法を語るための概念
8	文は何からできているか : 文の構造
9	身近な文法現象
10	言語は「意味」を持つ
11	「意味」は解釈される
12	言語は「変化」する
13	言語は「分類」される
14	これまでのまとめ：ハワイ語を事例に
15	総括、質疑応答、レポート課題について

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

応用言語学 市田泰弘

授業回数 8回

授業目的 進め方	言語への理解を深めるために、応用言語学の基礎を学ぶ。 テキスト『ことばの力学』にもとづいて学生が発表し、ディスカッションを行う。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	標準語と方言
2	国家と言語
3	バイリンガルは悪か
4	外国語教育
5	手話と言語
6	言語と文化
7	無意識への働きかけ 政治・メディアのことば、法と言語
8	言語障害、言語情報処理はどこまで来たか

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

日本語 岩崎加奈絵

授業回数 15回

授業目的 進め方	手話通訳士試験の筆記科目「国語」で、合格点を取ることを目標とする。 それと同時に、日常使用している言語としての日本語を、分析的に理解する視点を得ることを目的とする。 基本的には講義形式だが、できるだけ対話をしながら進めたいので、気軽に発言してもらいたい。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	イントロダクション 手話通訳士の「国語」とは？
2	音声器官と音声記号 IPAに学ぶ音の作り方
3	日本語の音 "50音"の成り立ち
4	日本語の音 特殊な「音」
5	音声と音韻 音声と音素、音節とモーラ
6	敬語表現 「敬語の指針」に学ぶ
7	アクセント アクセントの捉え方
8	アクセント 共通アクセント
9	語 品詞と活用
10	語 語の種類：漢語、和語、外来語
11	語構成 熟語の構造、複合語とは？
12	漢字 読み・部首・送り仮名
13	表記法 仮名遣い
14	文 文節、文の構造、「文章」へ
15	読解の演習とポイント

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

文化人類学 吉田優貴

授業回数 15回

授業目的 進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳者の資質としての「異文化理解」の基盤をつくる。 ・「人類学的に物事を考える経験」を通して、自分の凝り固まった思い込みやその後の経験の仕方を変えていくことをめざす。 ・中間レポートでブックレビューを課す（サイド, エドワード・W., 1993, 『オリエンタリズム』（上・下）, 今沢紀子（訳）, 平凡社（平凡社ライブラリー））。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	オリエンテーション：人類学する
2	「子供」と「大人」
3	「子供」と「大人」
4	「人種」・「部族」・「民族」
5	「人種」・「部族」・「民族」
6	「人種」・「部族」・「民族」
7	「言語」とコミュニケーション
8	「言語」とコミュニケーション
9	「言語」とコミュニケーション
10	コミュニケーションとからだ
11	コミュニケーションとからだ
12	コミュニケーションとからだ
13	食と環境
14	食と環境
15	期末試験

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1-2年生合同（29期・30期）

心理学 高嶋由布子

授業回数 8回

授業目的 進め方	社会学の基礎的な概念、障害と言語を取り巻く議論を学ぶことを通して、手話・聴覚障害者をとりまく問題を客観的に理解する方法を身につけ、分析的に理解できるようになる。
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	イントロダクション：社会学の問題設定、手話の社会的状況について（グループワーク）
2	社会学概説：社会学とは、社会と個人
3	社会学概説：マイノリティ、障害者、差別の構造
4	社会福祉学：障害者と社会、優生保護法
5	手話の社会言語学：手話は誰のものか、言語発達、バイリンガル
6	手話の社会学：障害者運動、手話言語条例、言語権
7	手話の社会言語学：コミュニケーションの秩序、手話通訳と障害者差別解消法
8	まとめのディスカッション（グループワーク）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

現代社会 市田泰弘

授業回数 15回

授業目的 進め方	<p>通訳者の資質として必要な知識を習得する。 現代を理解するためには歴史をふまえる必要がある。 また、地理（地政学）は歴史を理解するための横軸として機能する。 そこで、世界史・日本史と地理を、テーマ別の通史を繰り返すことによって、理解を深める。 進め方としては、学生自身が調べて発表することによって行う。</p>
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	世界史と地理（政治体制：古代～中世）
2	世界史と地理（政治体制：近世～近代）
3	日本史と地理（政治体制：古代～近世）
4	日本史と地理（政治体制：近代）
5	世界史と地理（インフラ：古代～近世）
6	世界史と地理（インフラ：近代）
7	日本史と地理（インフラ：古代～近世）
8	日本史と地理（インフラ：近代）
9	世界史と地理（経済）
10	世界史と地理（宗教）
11	現代社会（政治）
12	現代社会（経済）
13	現代社会（法律）
14	現代社会（時事）
15	現代社会（時事）

平成30年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1-2年生合同（28期・29期）

心理学 野寄茉莉

授業回数 8回

授業目的 進め方	手話通訳に必要な心理学の基本的な知識を学ぶ。
-------------	------------------------

回数	授業内容（予定）
1	心理学とは、学びのしくみ 知能の心理学
2	学びのしくみ 記憶の心理学
3	社会性とは 自己を知る
4	社会性とは 他者を知る
5	社会性とは 社会行動
6	心の個人差 パーソナリティの心理学
7	心の個人差 遺伝と環境の心理学
8	心の個人差 発達障害とその支援

平成30年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1-2年生合同（28期・29期）

カウンセリング 河崎佳子

授業回数 8回

授業目的 進め方	聴覚障害者カウンセリングの実情を知る。 また、心理相談における手話通訳者の役割、心理士との関係、心理相談通訳の専門性について学ぶ。
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	聴覚障害者カウンセリングの現場から : 自傷行為や「親密欲求」がエスカレートした事例
2	聴覚障害者カウンセリングの現場から : 母親から「息子が怖い」と怯えられた事例
3	聴覚障害者カウンセリングの現場から : 周りから「あなたはろう者の理想だ」と羨ましがられた事例
4	聴覚障害者カウンセリングの現場から : 職場での人間関係に苦しむ事例
5	心理相談における手話通訳 : 心理士と通訳者の連携
6	心理相談における手話通訳 : 手話通訳者の "思い"
7	心理相談における手話通訳 : 心理相談通訳の専門性
8	心理相談における手話通訳 : 展望

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

講義名 リハビリテーション概論 講師名 安高真弓

授業回数 7回

回数	授業内容（予定）
1	障がいとリハビリテーション
2	医学的リハ
3	教育的リハ
4	職業的リハ
5	社会的リハ
6	まとめ
7	テスト

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

講義名 社会福祉概論 講師名 安高真弓

授業回数 8回

回数	授業内容（予定）
1	「私のトリセツ」作成
2	社会福祉とは？
3	社会福祉の歴史
4	少子高齢化と家族の行方
5	高齢者福祉
6	児童福祉
7	女性・家族福祉
8	障害福祉

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

法学概論

授業回数 8回

授業目的 進め方	手話通訳に必要な法学に関する実践的な基本知識を学ぶ。 最終回で、模擬裁判を行う。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	刑事訴訟手続 : 警察と検察
2	刑事訴訟手続 : 逮捕～拘留、取り調べと手話通訳
3	刑事訴訟手続 : 刑事裁判
4	刑事訴訟手続 : 証拠調手続
5	司法通訳倫理 : 司法通訳人の役割
6	司法通訳倫理 : 「司法通訳倫理原則（案）」
7	裁判員制度
8	模擬裁判

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

医学概論 リハセンター医師

授業回数 5回

授業目的 進め方	手話通訳に必要な医学の基本知識を解剖学を中心に学ぶ。
-------------	----------------------------

回数	授業内容（予定）
1	細胞と組織
2	骨格系のしくみ
3	循環器系のしくみ
4	消化器系のしくみ
5	呼吸器系・泌尿器系のしくみ

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

コンピューターリテラシー 市田泰弘

授業回数 8回

授業目的 進め方	パソコンの基本操作ができるようになる 基本アプリケーションを用いて問題解決ができるようになる インターネットのしくみとその活用法について知る
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	パソコンの基本操作
2	パソコンの基本アプリケーションの使い方（ワード、エクセル）
3	パソコンの基本アプリケーションの使い方（パワーポイント）
4	パソコンの基本アプリケーションの使い方（画像・動画編集ソフト）
5	インターネットのしくみと活用法（メール、SNS）
6	インターネットのしくみと活用法（検索エンジン、クラウドサービス）
7	インターネットのしくみと活用法（動画共有サイト）
8	インターネットのしくみと活用法（ホームページ、ブログ）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

身体表現論 丸橋広実先生

授業回数 12回 （2グループ×12回） 発表1回

授業目的	インド舞踊の型としての感情表現や手の表記を学び、身体を使って踊ることで、人に伝達する方法の幅を広げる
------	--

回数	授業内容（予定）
1	ムドラー（24の手の表記）を学ぶ
2	アビナヤ（9つの顔の表現）を学ぶ。
3	アダウ（踊りの基礎のステップ）を学ぶ
4	創作舞踊に挑戦する
5	創作舞踊に挑戦する
6	創作舞踊に挑戦する
7	創作舞踊に挑戦する
8	創作舞踊に挑戦する
9	創作舞踊に挑戦する
10	衣装合わせ + 写真撮影
11	創作舞踊に挑戦する
12	リハーサル
13	発表 7/12（金）